



紀州東照宮

Kishu Toshogu Shrine

重要文化財7棟

本殿・石の間・拝殿・唐門・東西回廊・楼門・東西庁舎



紀州東照宮は、南海道(現在の和歌山県と四国4県)の総鎮護として、1621(元和7)年に創建された400年の歴史を持つ神社です。創建したのは、徳川家康公の十男で、徳川御三家の紀州藩初代藩主の徳川頼宣公です。ご祭神は、徳川家康公と徳川頼宣公の二柱です。社殿は、極彩色の左甚五郎の彫刻や狩野派・土佐派の壁画で飾られ絢爛豪華な造りです。創建以来50年の式年ごとに根本修理が行われ、10年、20年の彩色修理などを経て今に継承され、創建当時の姿が維持されています。大正5年より本殿など7棟が国指定の重要文化財に指定されています。平成29年には、創建の翌年から続く例祭 **和歌祭**とともに日本遺産に指定されてます。

Kishu Toshogu is a Shinto shrine that was built in 1621 and has a history spanning 400 years. It enshrines Tokugawa Ieyasu, founder of the Tokugawa Shogunate which ushered in a 265-year period of peace in Japan. The ornately-decorated main hall has been designated as an important cultural property by the Japanese government.

紀州東照宮是一間創建於1621年，擁有400年歷史的神社。神社內供奉的是徳川幕府的開府將軍，為日本帶來265年和平的徳川家康。絢麗多彩的神殿已被指定為日本重要文化財產。

紀州東照宮神社創建於1621年，至今已400年歷史。神社內供奉的是建立徳川幕府、為日本帶來265年和平的徳川家康。絢麗多彩的神殿已被指定為日本重要文化財產。

1621년에 창건하여 400년의 역사를 간직한 기슈토쇼구 신사는 도쿠가와 막부 창시자이자 265년 동안 이어진 일본의 평화 시대를 연 도쿠가와 이에야스 공을 신으로 모신 곳입니다. 아름다운 색으로 물든 신전은 일본 국가 지정 중요 문화재입니다.

紀州東照宮

